

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
制作概論											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義+演習	時間数	45	単位	3
担当教員	佐野真隆			実務経験	有	職種	イラストレーター、ストップモーションアニメーター				
授業概要											
アイデア展開や色彩学、造形学などにふれ、作品制作の基礎力を養います。											
到達目標											
イラストレーション制作やキャラクターデザイン演習、さらにはコマ撮りアニメーション制作を通して総合的な作品のデザインについて学び、今後の作品制作に反映させられることが目標である。デザインを通じて創作を産み出すコツ、きっかけ、そして創作の心や楽しさを発見し、これまでの作品よりもより魅力のある作品を作り上げられるようになる。											
授業方法											
初歩のキャラクターデザインをはじめとしてアナログ画材による演習を実施していく。デザイン演習の過程でフリップブックの制作を実施する。中盤以降はさらに砂や粘土など素材を活かしたコマ撮りアニメーション制作を通じて学生自身がデザインしたものに命を吹き込む作業を経験する。											
成績評価方法											
課題を総合的に評価する。積極的な授業参加と授業態度を評価する。											
履修上の注意											
自分でも情報を収集し創作スキルを体得していけるよう積極的に授業に参加すること。指定の画材道具などは各自で事前に準備する。10分以上の遅刻は時限欠席となるので注意。											
教科書教材											
水彩色鉛筆、水彩用水筆、耐水性黒のミリペン											
回数	授業計画										
第1回	前期内容の復習/オリエンテーションほか										
第2回	作品のカラーリング技法（１）										
第3回	作品のカラーリング技法（２）										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制	
制作概論	
第4回	作品のカラーリング技法（3）
第5回	作品のカラーリング技法（4）
第6回	構図技法を生かした作品制作（正方形構図など）（1）
第7回	構図技法を生かした作品制作（正方形構図など）（2）
第8回	構図技法を生かした作品制作（正方形構図など）（3）
第9回	構図技法を生かした作品制作（正方形構図など）（4）
第10回	講評・まとめ
第11回	これまでの学習を生かした群像イラストレーション作品を制作する（1）
第12回	これまでの学習を生かした群像イラストレーション作品を制作する（2）
第13回	これまでの学習を生かした群像イラストレーション作品を制作する（3）
第14回	これまでの学習を生かした群像イラストレーション作品を制作する（4）
第15回	総合講評・まとめ